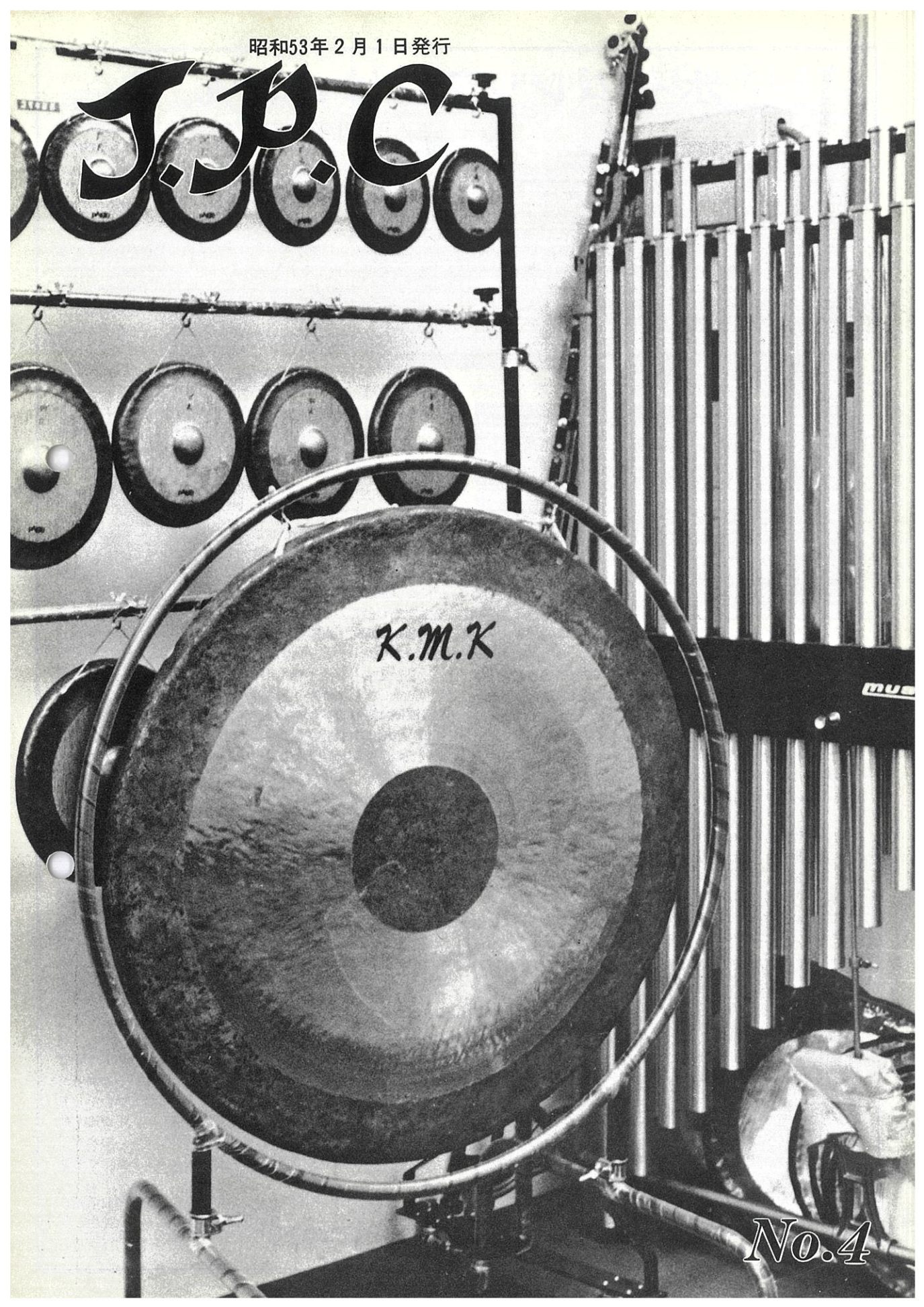


昭和53年2月1日発行

J.P.C.



No.4

ホームレッスンはいけん



今日も一日が暮れようとしている。街並はネオンで飾られ、その下を家路に急ぐ人々が足早に通りすぎる。肌を刺す風も冷たい日である……。そんな光景の中、バスははしる。ネオンの灯りもまばらになり住宅街が見えてくる。家々からはあたたかな光がこぼれ、家族で過ごすコマを思い出させる。朝吹先生のお宅についた時には、あたりもすっかり暮れていた。

家の前に立つと、ピアノに乗ったマリimbaの音が美しく流れ、音符をあしらった飾り窓が、今にでも浮かぶようだ。

朝吹英一。マリimbaに魅せられ50年。ただ一すじ、自分の音楽を自分のマリimbaを育てて来た人でもある。今まで数多くの奏者を育て、現在プロで活躍している人も数知れない。今回のレッスンはそんな中の一人、藤本美穂子さんをお願いした(先日行なわれた木琴協会全国大会にて、すでに2回の出場をはたしている)。まずそんな彼女に朝吹先生のことを聞いてみた。「紳士的でとてもやさしい。」と答える彼女。(これには私も同感である)。レッスンはどうですかと聞き直すと、「きびしい」の一言。

私が見たレッスンは4マレットによるコード進行だった。ちょっとび緊張する藤本さん。おだやかな口調の先生(しかし彼女を見つめる目はするどい。自分の音楽を作り上げて来た厳しさが、ありありと浮んでいるかのように思えた)。小学校6年の時入った音楽クラブが木琴の出会いだという。今は大学の一年生である。「他に職を持ちながらマリimbaを教える行きたい。」と



訪問先……朝吹英一先生 (日本木琴協会会長)

将来を語る彼女。「進学のプロクがあるのにもかかわらず、とても進歩が早い。そしてとてもデリケートな音楽です。」と先生は話された。高校の時本番中舞台から友人に手を振ったというエピソードを持つ彼女、見かけによらず(失礼)度胸の持主である。こんな彼女を支えているものはやはり、マリimbaを通した音楽であろう。彼女もマリimbaから離れることができない一人にちがいない。「軽井沢の美人」、「新世界の1~4楽章」が、特に印象に残っていると言う。

彼女の持っている素晴らしい音楽をあのマリimbaの音に託し、これからも彼女自身の音楽を作り上げてほしい。彼女の言葉にじっと耳をかたむけていた朝吹先生。先生とマリimbaの出会いは、今でいう中学校2年の時である。「ウィリアム・テル」、「アメリカン・パトロール」等が入ったSPレコードを聞いたりして、魅せられたそうである(当時、ザイロホンという楽器さえ知らない人が多かったという)。先生自身もピアノよりザイロホンにとりつかれ、楽器を購入したとのこと。

「今考えてみると、ずいぶん廻り道をしましたねえ……。」と、感慨深げに語って下さる朝吹先生。「当時は木琴用の楽譜なんていうのはなく、バイオリンやピアノ等の譜面をいっしょうけんめい手で写しました。」と、ほほえんで下さった(ちょうどNHKがラジオの放送を始めた頃のお話だそうです)。

当時、東京音楽学校(現在の芸大)のウェルク・マイスター先生より作曲の手ほどきを受け、自分で作曲活動も始められた。

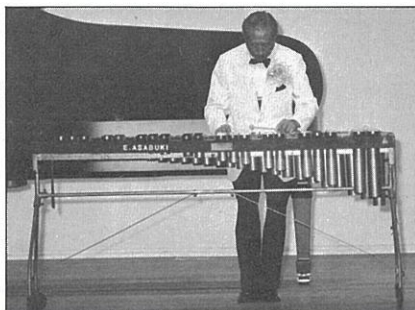
昭和2年、初めてのラジオに出演した時の反響はすさまじく、新聞記者が押し寄せたほどで、ほとんどが楽器に対する質問だったそうである。とにかくザイロホンという楽器がめずらしく、いったいどんな楽器なのかという質問が大半をしめた。ある新聞には大きく、パイプオルガンとまちがって載ったこともあった。「当時、音楽大学へ進みたいと両親に相談した時、「趣味はいいが音楽の仕事は絶対にだめだ。」と反対されたこともありましたが、今考えてみると、マリimba(音楽)をやって来てほんとうに良かった。今、自分のまいた種が実り、教え子達が大きく育ってくれた。今ではマリimbaがほんとうの生きがいとなり、幸せです。私は、今活躍されている奏者の方々にはそれぞれ自由に個性をのびし、その中から、いろいろな奏者が生まれ、真に自分の音楽(演奏)を作り上げてほしい。そして古典曲、現代曲を問わず音楽的に表現してほしい。手が速く動く、正確さだけではなく、常に基本を大切に、いい音で、いい音楽で(横に流れる音楽)、自分を表現して下さることを望みます。」

「今後私は、日本木琴協会の運営を主に、作曲、編曲活動を続けて行きます。」……。静かに熱く語られる朝吹先生。私



はただ聞き入り、50年という長い年月に築き上げられた重みを真に感ずることができた。深く刻みこまれた額のしわは、長期に亘る数多くのキャリアを物語り、あくまでも冷静に淡々と語られる口調は、その間作られた真の人間性を秘めていた。初対面の私には、その言葉の一語一語が重くのしかかり、改ためて自分の甘さを理解することができた。

シロホン(写真の)を、おゆずりいたします DEAGAN ARTISTS' SPECIAL XYLOPHONE #264



朝吹先生が昭和2年に購入され、現在まで使われていたディーガンシロホン#264を；御希望の方におゆずりいたします。

¥500,000-

お問合せはジャパン・パークッション・センターまでどうぞ。

バンド紹介 その1 仁愛女子高等学校 鼓隊部

福井県福井市宝永4-9-24
電話 0776-24-0493

新幹線に乗りこみ読書(?)に耽っていると、いつしか名古屋につく。名古屋からさらに特急へ乗り継いで約2時間。列車は福井市につく。越前海岸と竹人形等で知られるこの街は、静かなたたずまいが多く、駅前雑踏をのぞいては、現代的なビルと古風な家々がうまく調和している。今回おじゃました仁愛女子高校は、生徒数2000名を数え、女子短期大学と共に素晴らしい伝統につちかわれた学校である。私がまず感心したのは礼儀の良さである。ドアはきちんとノックされ「失礼します」の言葉が必ず入る。帰りも同じである。

細かい所まで教育された学校の方針について私も「はい」と返事が出る。スポーツと音楽がさかんこの学校はクラブ活動にも全力をそそいでいる。その一つである鼓隊部は、昭和40年1月、福井国体局の依頼により発足した。その後、数々の大会に出演し今では日本を代表する、女子ドラム・コーズに成長して



いる。過去、ブラジル総領事賞、文化奨励賞をはじめ、全国マーチングバンドコンテストにおいても数年に渡り連続金賞を受賞するなど、輝かしい成績をおさめている。「6月にオランダ演奏旅行が決定したんです」と、にこやかに話されるのは顧問の吉田先生。

体育大学出身とあって、フォーメーションの中にもその要素をとり入れ、すばらしい造形美を作り上げている。またその指導のもとけんめいに練習に取りくむ彼女達の姿には、苦痛はなく、むしろ練習することによって、自分達で創作する楽しみを見出しているように思えた。あたりが暗くなっても、けんめいに練習する姿を見ていると、私も心打たれる所があった。おそらく彼女達は、高校生活三年間で学んだことを一生涯につけることだろう。そして将来、それらを自分がかみしめてくれることを願う。私が学校を卒業する時、こんは言葉を教えられた。「ローソクになりなさい。自分をもやし、もやすことによって、ほのぼのとした灯りで回りを照らすロウソクに……。」。今私は彼女達に、この言葉を送ります。

オランダ公演の成功、心よりお祈りいたします。

山田記

高橋美智子マリンバ教室

生徒申込受付中!

レッスン 毎週日曜日 PMI:00~5:00

会場 ジャパン・パークッション・センター

入会金 4,000円

月謝 5,000円

設備費 300円

但しJPC会員は入会金半額免除になります。

講師 高橋美智子

東京芸術大学、武蔵野音楽大学、上野学園大学講師
昭和31年 全日本吹奏楽個人コンクール優勝
" 37年 東京芸術大学器学科卒業
" 39年 同大学専攻科修了
" 48年 オランダ・ガウデアムス国際現代音楽コンクール優勝(全種目中)
" 50年 文化庁芸術祭優秀賞をリサイタルにて受賞

日本国内での活躍の他に、ヨーロッパ各地で演奏会、テレビ、ラジオ、レコーディング、又、オーケストラ等にソリストで招かれている。またオランダの音楽大学にて特別講師として講演会、公開レッスン、演奏会なども行っている。

講師 佐長あけみ

高知県出身
武蔵野音楽大学打楽器科マリンバ専攻在学
高橋美智子、種谷睦子、西岡園子の各先生に師事、現在、各音楽教室にて後進の指導に当たっている。



一口にマーチングバンドと言っても、その範囲は広く、ドラムコア、金管バンド、トランペット鼓隊、ビューグルバンド等、いろいろとり上げられる。フィールド・ショー、ステージ・ショー等、幅広く私達を楽しませてくれます。「音楽」そしてアクションの「動」と「静」それらの構成により、ずいぶん異なったアピールがあるとお気持ちの方もあって良いでしょう。そこで今回は「マーチングバンドあれこれ」と題して、特集してみました。選曲、編曲、略記号、作成、作図などから一部を御紹介致します。

マーチング・バンドにおける選曲と編曲

ステージ・ショー、フィールド・ショーは、マーチング・バンドの本領を發揮させる最良の場ともいえるでしょう。「動と静」「音楽」を、聴集にアピールするためには、十分選曲に注意してほしいものです。

- (1) 演奏がしやすくポピュラーであること。
- (2) メロディーがはっきりし、音量豊かであること。
- (3) テンポやリズムがバラエティであること。
- (4) その場においてふさわしい曲であること。
- (5) 各バンドの力量に合い、バンド員を疲労させないこと。

以上のことに注意し選曲が出来ましたら、今度は編曲に移ります。ショーをより効果的にするために編曲は、かくことのできない大切なことです。

- (1) メロディーを強張すること。
- (2) 楽に演奏ができるように、無理な音域は使わないこと。
- (3) ハーモニーをはっきりさせ、メロディーに合った響をだすこと。
- (4) 各バンドの力量に合った編曲をすること。

以上のことに注意し、より効果的な編曲をするように心がけて下さい。

参考までに各楽器の効果的な音域を例記します。

フォーメーションの基礎知識

(1) 略語

- MT (Mark Time March) 足踏み
- RM (Forward March) 前進
- RM (To the Rear March) 後進 (左回り)
- LRM (Left to the Rear March) 後進 (右回り)
- RF (Right Flank March) 右へ隊形変換
- LF (Left Flank March) 左へ隊形変換
- HS (Half Spin) 半回転
- 3S (Three-Quarter Spin) ¾回転
- FS (Full Spin) 1回転
- ⓕ (Freeze) 両足をつけて不動
- Lⓕ (Left Freeze) 左足前にて不動
- Rⓕ (Right Freeze) 右足前にて不動
- RX (Cross Right Over Left) 右足を左足にクロス
- LX (Cross Left Over Right) 左足を右足にクロス
- K (Kick) フィールドをける
- RB (Rear Back) 楽器を上下させる
- KD (Kick Down) 足をけりおろす
- LP (Left Pin Wheel) 列の左回転
- RP (Right Pin Wheel) 列の右回転
- TTR (To the Rear) 列の回れ右
- # 自分に与えられただけ進む

(2) 略号を使用したフォーメーションの作成

フィールドの場合は、4歩か8歩間隔にラインを引くと便利です。またフォーメーションを作成する時は、グラフ用紙等を利用すると作成しやすい。

例

- A...FM8 MT8 (8歩前進、足踏8回)
- B...MT2 FM6 MT8(足踏2回、6歩前進、足踏8回)
- C...MT4 FM4 MT8(足踏4回、4歩前進、足踏8回)
- D...MT6 FM2 MT8(足踏6回、2歩前進、足踏8回)
- E...MT16 (足踏16回)

(実線部のみ)

(3) 練習を開始する時

フォーメーションが出来上がり、いよいよ練習にとりかかろうとする時、バンド員がとまどう様子をよく見かけます特に初級バンドに多いようです。その時、大切ことは、バ

ンド員とフォーメーションを確認する時、各パート譜の上に略号を記入させることです。この記入によって歩数と間隔、演奏等をつかむことができます。

譜例



- 1-1 FM 4 4歩前進
- 3-1 MT 4 4歩足踏
- 5-1 LX 5小節目の1拍目で左足を右足にクロスさせる
- 6-1 RX 6小節目の1拍目で右足を左足にクロスさせる
- 8-1 FM 4 4歩前進
- 8-1 FS 8小節目の1拍目でフルスピン
- 9-1 MT 4 4歩足踏
- 12-1 LK 12小節目の1拍目で左足をける
- 12-2 RK 12小節目の2拍目で右足をける
- 13-1 FM 4 4歩前進
- 15-1 MT 2 2歩足踏
- 16-1 不動
- 16-2 KD 16小節目の2拍目でキックダウン

(4) マーチングステップのいろいろ

ショーの演出を行なう上において、ステップの重要性がとり上げられます。アピールをより効果的にするためまた、フォーメーションを美的にするためにも必要なことです。

○ハイステップ (グライドステップ)

ひざを高く上げ、腿がフィールドと水平になるように上げる。また爪先も下へ向くようにする。あごを引くこと。

○ストライドステップ

ハイステップと同様にする。ただし爪先は上へ向く。

○ダックスステップ

ストライドステップに似ているが、かかとに重心をかき、引きずるように歩く。

○クロスステップ

右足、左足を交互に交差させる。足踏の時や一つのアクションとして用いる。

この他、いろいろなステップや、バリエーションがありフォーメーションに応じて、ステップも使いわけると効果的だと思います。

(5) マーチングバンドの打楽器

○スネアドラム

- (a) 良く調節されたガットが付いているもので10本ボルトを用いること。
- (b) ひざあてが取りはずし自由なもの。
- (c) サイズは12"×15"が理想的です。

○バスドラム

- (a) 倍音を消すために、フェルトのついたもの、もしくはヘッドに黒や白の透明点があるもの。
- (b) サイズは14"×28"または14"×26"。

○テナードラム

- (a) スネアドラムやバスドラムと同様
- (b) サイズは12"×16"。

○ティンパム

- (a) 音域はテナーを使用する。
- (b) サイズは、12"×18"、12"×16"、12"×14"。
- (c) マレットは木製エンドと硬質フェルトエンドの付いたもの。

○シンバル

- (a) メディウムかメディウムヘビー、もしくは、マーチングバンドと印しの付けられているもの。
- (b) パッドは皮製で小さいもの。
- (c) サイズは18"、20"、20"が一般的に用いられています。また廻す時には、14"位が良いでしょう。

以上のものは極一般的なものですが、もちろん、各バンド編成やアレンジによって異なってきます。よく編成等を考えた上で、そろえて下さい。

私達の目と耳を楽しませてくれるマーチングバンドも年々さかんになり、コンテストも数多く行なわれているようです。各バンドで独自のフォーメーションを組み、アンサンブルを楽しみ練習するのも良いでしょう。

しかし練習だけにこだわらず、一の団体としてチームワークをとり、人間相互のアンサンブルを作り出してほしいものです。つらく苦しい練習の中から自分を見つけるもの素晴らしいことです。そしてますますマーチングバンドがさかんになり、優秀な団体が数多く生まれることを願ってやみません。

ジャパン・パーカッション・センター
山田正俊

(音楽の友社、吹奏楽講座3を参照)



打楽器の奏法

小太鼓の巻その(4)

塚田 靖

スキーのシーズンもたけなわです。私もスキーが大好きで、いつも冬になるとソワソワし時間を見つけてはスキーに出かけます。

さて、何人かの人からいろいろなお手紙をいただきました。ありがとうございました。小太鼓の奏法を紙面だけで書きつくすことは、不可能に近い部分もあり、なかなか細い点の表現がうまく出来ません。もし何かのチャンス(講習会など)がありましたら、ぜひ上手な人の演奏を注意深く聞いて下さい。そして、はっきり自分にわかるまで質問して下さい。これが最も上手になる方法です。

さて、この前にも書きましたが、ロールには[OPEN ROLL]と[CLOSED ROLL]という二種類があります。(もちろんこの他にも[Multi Roll][Bazz Roll][Push Roll]などといわれているロールもあります)。前回ではこの中の[OPEN ROLL]を取り上げました。またロールの最も基本になるのは、やはりこの[OPEN ROLL]であり、これがしっかり出来ていないと、他のものも決してうまく行きません。そこで今回も譜例をいくつか使いながら、ロールを練習してみたいと思います。

いろいろなロールの練習

前回で「2つ打ち」の方法などについて書きましたので、今回は次のステップに進めたいと思います(しかし、今回

譜例

(I) RRLLR (LLRR L) RRRLLR (LLRR L) etc.

(II) RRLLR (LLRR L) RRRLLR (LLRR L) etc.

(III) RRLLR (LLRR L) RRRLLR (LLRR L)

(IV) RRLLR (LLRR L) RRRLLR (LLRR L)

(V) RRLLR (LLRR L) RRRLLR (LLRR L)

(VI) RRLLR (LLRR L) RRRLLR (LLRR L)

(VII) RRLLR (LLRR L) RRRLLR (LLRR L) etc.

(VIII) RRLLR (LLRR L) RRRLLR (LLRR L) etc.

(IX) RRLLR (LLRR L) RRRLLR (LLRR L)

(X) RRLLR (LLRR L) RRRLLR (LLRR L)

(XI) RRLLR (LLRR L) RRRLLR (LLRR L)

(XII) RRLLR (LLRR L) RRRLLR (LLRR L)

のステップも、前回の「2つ打ち」が出来るようになったものとして、話しを進めますので、前回の「2つ打ち」をしっかり勉強して下さい。

A 「5つ打ち」

小太鼓のロールの中では最も多く使われる一つで、まず最初に練習に入るロールの一つです(譜例I)。このロールは左右が一回ずつ「2つ打ち」をして最後の手だけは1つ打ちになり、合計「5つ打ち」になります(譜例II)。さて、このロール(これからのロールの練習すべてに言えます)を練習する時に「リズム」と無関係に練習してはいけません(これは大切なことです。時々見かけるのですが、「5つ打ち」だけはとても上手に出来るのですが、いざ曲の中で使ってみると全くテンポに乗れずチグハグな「5つ打ち」をする人がいます。これは「5つ打ち」の基本練習の時に、リズムに乗った練習をしっかりとっておかないからだと思えます)。

そこで、ここに「5つ打ち」の練習方法で最も一般的なものをいくつか上げてみます。

(1) 2拍子系の「5つ打ち」(譜例III)

これは、 $\frac{2}{4}$ というリズムに乗って練習して行くことが大切です。そして初めは片方の手から練習して、左右別々に出来るようになりましたら(譜例IV)のように交互に練習して行きます。もちろん正しく、 $\frac{2}{4}$ 拍子のリズムに乗って練習して行くことは言うまでもありません。

(2) 3拍子系の「5つ打ち」

さて、もう一つの練習方法は、3拍子の感じで「5つ打ち」を作って行くことです。まず(譜例V)を見て下さい。(譜例III)とのちがいは、5つ目を打ったあとに、「 τ 」があるかないかです。しかしこのちがいは最後には大変な差が出て来ますので、しっかり勉強して下さい。またこの(3拍子系)の5つ打ちは、必ず交互で練習します(この他にもいろいろな練習方法がありますが、ここでは、はな

B 「9つ打ち」

これもいくつかありますが、最も一般的なものを上げておきます。

(1) 4拍子系の「9つ打ち」(譜例VI) これは9つ目を打った後に(τ)が一拍あり、速くして行くと(譜例VII)のように演奏されます。

(2) 3拍子系の「9つ打ち」(譜例VIII) これは(譜例VI)とはちがいで、速くして行くと(譜例IX)のようになります。いずれにしても音を出している時ではなく、ロールとロールの「間」の取り方がちがって来ます。

C 「13打ち」(譜例X)

このロールもたくさん使われますので、左右どちらかか

らもしっかり出来るように勉強して下さい。速く出来ると(譜例XI)のようになります。

さて、今までに「5、9、13打ち」を書いて来ましたが、「記譜方と、ロールの数との関係」について最後にふれておきます。

たとえば、(譜例XII)と(譜例VIII)では、音楽の速さがXII 2倍のテンポになります。つまり、(譜例VII)の♪は(譜例

VIII)の♪と同じ速さになります。したがって♩ = 「5つ打ち」♪ = 「9つ打ち」というように決めてしまうわけには行きません。今回ここで取り上げた(譜例I~XI)までのものは、テンポがほぼ♩ = 92~132位の場合にあてはまることだということを頭に入れておいて下さい。さて今まで練習した「5、9、13打ち」を使った曲を少し書きましょう。

16 examples of musical notation for 5, 9, and 13 strokes. Each example is on a single staff with a 2/4 time signature. The notation shows various rhythmic patterns and rests.

新発売

K.M.K

コンサートマリンバ #750

価格 468,000円

免税価格 434,000円

音域 A₂~C₇ 4オクターブ

調律 A=442

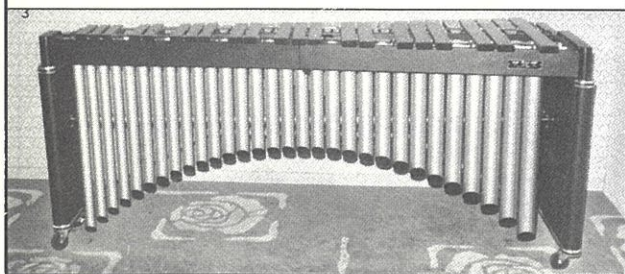
寸法 208×82(L)×35(H)×85.5 (間口、奥行、高さ)

音材板 最高級ローズウッド(輸入材)

音板幅 66mm~40mm

(最大音板幅~最小音板幅)

カバー付



昭和53年3月卒業生有志による

マリンバ新人演奏会

とき 5月2日(火) (開演時間未定)

ところ 上野・文化会館小ホール

昭和53年3月に全国の音楽大学を卒業する有志によって行なわれる演奏会です。各大学で、マリンバを習得した全国21校の方々が集まります。皆さんも参加して楽しいひとときをすごしませんか。

企画制作 高橋美智子

協力 有賀誠門 岡田知之 小川雅弘

塚田 靖 (敬称略)

後援 J.P.C.

秩父の夜祭り

その3



玉川大学講師 パーカッション・グループ72主席 永曾重光

近くの喫茶店で体を暖めた後、再び秩父神社に戻る。午後七時、屋台進発の時間である。道の両側にはすでに人垣ができ、おし合いへし合い波のようにうねっている。もちろん大ぜいの警察官がハンドマイク片手に、人が道の真中にはみださないように押しもどしている。中央線のラッシュなどの比ではない。

出店もこの時ばかりは商売をやめ、店がつぶされないように必死で守っている。おどろいたことには、見物人の波の中には、〇〇農協、××老人会の旗を持ったお年寄りがかなり多く、これでは怪我人が出てもしかたなしという感じである。七時半頃になって神社の境内にようやく歓声があがる。屋台が動き始めたようだ。笠鉦が二基と屋台が四基、合計この六基がこの神社の前を御旅所へ向かうのである。道のむこうの方からも歓声がきこえる。あっちからも屋台が来ているのであろう（順序は中近笠鉦、下郷笠鉦、宮地屋台、上町屋台、中町屋台、本町屋台—浅見清一郎著、秩父祭と民間信仰より）。我々が居る所はちょうど道がくの字に曲がっていて、屋台の方向転換の場所である。秩父の屋台には、飛驒の屋台のような方向変換用の車輪はなく、その作業は屋台を大きなテコで持ち上げ、その下にギリ棒という凸形の台をかませてそれを軸に方向を変えるという、これまた勇壮なものである。なお、その際にはお囃子も大太鼓をやめ、小太鼓のみで玉入れとい称される音型を奏する。

これは大太鼓を打つとこの操作に不便があるからだそうだ。

方向転換が終わるとお囃子は再び大太鼓のはいった力強いものとなり、それを合図に屋台も動きだすのである。全部で六基の屋台の方向転換、一時間くらいかかったのではないだろうか。とにかく大変な作業である。

最後の屋台が通り過ぎた後、人垣は一丸となって屋台の後ろを追う。もちろん人波にもまれ、疲れはてて思い思いの方向へ散ってゆく人も大勢いる。我々もマイクを持ったままみくちやにされて腹ペコ、クタクタである。

屋台と後を追ってもどうせ録音もできそうにないので、腹ごしらえをするため、屋台と反対の方角に歩く。しばらく行くとレストランと書いてあり、旅館に付属した、いわゆるいなかの大衆食堂風レストランである。中へ入るとちょうど我々が満席、次の人達は立ったまま席のあくのを待っている。壁には白もぞう紙に大きな字で「お祭メニュー」とあり5、6種類の料理の名前が並んでいる。値段の方もおそらく御祝儀相場なのだろう。新宿や渋谷のちょっとしたレストラン並だ。

とっても小さなエビフライを平らげて外へ出ると、丁席火花



の真盛りである。凍ってくるような寒さの中で見る火花、これもまた、おつなものであった。

原稿の締切に追われながらもやはりじっとしていられなくなり、今年もまた秩父に行ってきました。今年は屋台のコースが変更され、それにもとなうトラブルで出店が一軒も出ないと

う、クープを入れないコーヒーのようなお祭りでした。聞くところによると、屋台を更く人は酒もあまり多量に飲んではいかん、という警察からの御達しだったとか。

しかしこちらの方はほとんど守られておらず、やはり酒スキの祭りなんてありえないことを実感しました。京都、飛驒、秩父、これら有名な祭りのあるところには必ずおいしい地酒があり、これも祭りと無関係とはいえないように思います。

最後に、この取材に御協力くださいました吉田町の新井さんをはじめ多くの方々に心から御礼申し上げます。



三つのクリニック

昨年11月23日～12月4日、マレット・フェアが行なわれた。世界のマレットが一堂に集まる機会は少なく、JPCも初のこころみ、そのフェアと併催されたの

が、「マレット・アドバイスとクリニック」。

ジミー竹内（ジャズドラム）、杉浦良三（ジャズバイブ）、岡田真理子（マリンバ）の各先生を迎え、いろいろな分野からマレットと奏法のお話があった。それぞれ各先生方の持味を生かしたクリ

ニックとなり、会員の人も熱心に聞いていた。杉浦良三先生のクリニックの時、増田一郎氏の飛び入りがあり、ピアノ伴奏でお得いの曲を、披露した。各先生方のお話しの要点は全て共通しており、自分に合ったマレット、目的に応じたマレットを選ぶことにおちつくようだ。



写真・杉浦良三先生、(右)と
曲を披露する福田一郎氏



当日展示されたマレット

打楽器のすさまじい響宴!

ストラスブール・パーカッション・グループ コンサート・イン・ジャパン 78

- 2月9日(木) 横浜・神奈川県立音楽堂 18:30(III)プロ
10日(金) 東京・郵便貯金ホール 19:00(I)プロ
13日(月) 名古屋・愛知県文化会館 19:00(III)プロ
16日(木) 大阪・厚生年金会館ホール 19:00(III)プロ
18日(土) 京都・京都会館 19:00 京響定期
20日(月) 東京・郵便貯金ホール 19:00(II)プロ

プログラム

- (I) マレク：ACTUOR
バートウィルス：THE HOBBY HORSE IS FORGET
- (II) ド・パブロ：VIELLEICHT
デュフォール：EREHWON・I
マッシュ：MARAЕ
平義久：HIEROPHONIE-V
- (III) デュフォール：EREHWON-I、II
クセナキス：PERSEPHASSA

京都公演

2月18日(土) 19:00

外山雄三～京都市交響楽団定期演奏会
メシアン：死者のよみがえりを待望む
ヴァレーズ：イオニゼーション

プロフィール

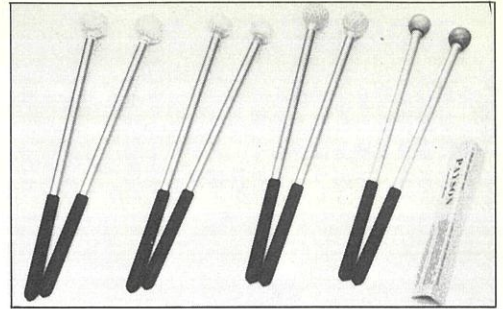
1961年初め、いずれもバリ音楽院出身の6人の打楽器奏者がオーケストラのコンサートのために、ストラスブールに集まった。これを機会に、6人は打楽器のためのアンサンブルを組織することを決意し、必要な練習を開始した。彼等の目標は打楽器のために書かれた現代作品の演奏、ことに生演奏の断続的な創造をもとにして、打楽器に現代的意義を与えることだった。そして皮、金属、木材、あらゆるカテゴリーの打楽器が、最初から一緒に使用された。古典的楽器、創作楽器、または民俗的楽器等全部で150種におよぶ。

1965年は彼等にとって記念すべき年だった。その年に彼等は、コンサート史上はじめての打楽器のためのリサイタルを開いたのである。1971年10月、初めて来日し東京でただ1回の演奏会を開き、次いで1974年4月、大阪国際フェスティバルに参加のため再来日し、絶賛を博した。

主催 梶本音楽事務所 電話(03)571-1689(代)
後援 FM東京

特殊打楽器入荷ご案内

品名	メーカー	品番	規格	価格
ティンパニー	ラディック	817	23、26、29、32" プロフェッショナル4点セットモデル(銅)	1,700,000
"	"	880	26、29" プロフェッショナルモデル	838,000
"	"	1894	23、26、29、32" ユニバーサルモデル	815,000
"	プレミア	824	22½、25、28、30" (銅) ゲージ付	1,600,000
"	"	820	25、28" (銅) ゲージ付	790,000
"	"	810	25、28" (F.G.) ゲージ付	570,000
マリンバ	KMK	750	4½Oct. A~C コンサートモデル	468,000
"	マッサー	M-250	4 ½Oct. A~C A=442	1,165,000
"	プレミア	600	4 Oct. C~C	668,000
シロホン	マッサー	M-50	3½Oct. F~C A:442ローズ音板	500,000
"	"	M-67	新製品 マーチング用2½Oct. C~G スタンド・ホルダー付	343,000
"	プレミア	500	4 Oct. C~C	568,000
ビブラホン	マッサー	M-75	3 Oct. F~F	1,190,000
"	プレミア	751	3 Oct. F~F	568,000
グロッケン	"	570	2 ½Oct. G~C	78,000
"	ディーガン	1560	2 ½Oct. G~C	180,000
ベルリラ	マッサー	M-2040	2Oct. A~A	103,000
アンティークシンバル	Aジルジャン		1 Oct. C~C 各1枚セット ケース付	150,000
コンサート・バスドラム	ラディック	804P	16" × 32"	158,000
"	"	806P	16" × 36"	180,000
"	"	808P	18" × 40"	206,000
バスドラム・回転スタンド	"	789	36" ~ 40" 用	133,000
クロマチックゴング	バイテス		F 3 ~ C 4	202,000
銅	羅	PSG-26	26吋	88,000
"	"	PSG-24	24吋	73,000
"	KMK		44" 中国製 初入荷	650,000
"	"		36" "	300,000
"	"		32" "	200,000
"	"		26" "	135,000
"	"		24" "	115,000
"	"		21" "	85,000
スネアドラム	各社	ラディック、ロジャース、プレミア、国産	各種	
"	ラディック	472P	新製品 6 ½" × 14" (木胴)	91,000
"	"	418	5" × 14" スーパーセンシティブ	120,000
ティンブトム	"	675	9" × 10、12" × 13、15" × 16"	263,000
"	ロジャース	46-6225	10" × 18、16、14" テナートリオ、ホルダー付	170,000
マーチング・スネアドラム	ラディック	3206P	12" × 15" バレードマスター	86,000
マーチング・バスドラム	"	3220P	10" × 28" バレードマスター	125,000
"	"	428	10" × 26" ハイテンション	125,000
ポップ・ガン	"	2395		13,000
チャイム	プレミア	865	1 ½Oct. C~F	640,000



日本初入荷!!

ペイソン・ティンパニーマレット

JPCクリニックでおなじみのシカゴ交響楽団・打楽器奏者、アル・ペイソン氏のカスタムメイド、ティンパニーマレットが初入荷致しました。特殊アルミニウムシャフトに、バランスのとれたヘッドを使用したこのマレットは、耐久性、音色などについては言うまでもなく、アンサンブルに、ティンパニーソロにと幅広く使用できます。

一度、おためしになってはいかがですか。

¥3,200 ~ ¥4,800

マレットについて一言

サトー・マリンバマレット

Aタイプ 重量があり現代音楽向き
Bタイプ 軽く速いリズムを奏する時
Cタイプ Aタイプよりやや軽く丸味のある音色

毛糸巻 音色の変化が自由

木綿巻 一定の音色を得る時

ハード	94"以上	硬いリズムを奏する時
メディアム・ハード	88"~90"	やや硬いリズムを奏する時
メディアム	84"~86"	速いリズムのバッセージを奏する時
メディアム・ソフト	74"~80"	4マレットでコラール風な曲を奏する時
ソフト	66"~70"	アンサンブルで、ハーモニーを奏する時

サトー・ティンパニーマレット

グッドマンタイプ 現代音楽向き

ビックファースタイプ ロマン派音楽向き

コンチネンタルタイプ 古典派音楽向き

それぞれ用途に応じて、お使い下さい。

JPC便り

1978年がスタートし、皆さんも今年こそ何かを……。と思っていられることでしょう。JPCも年月を数えるごとに、多くの方々が入会されました。また全国の皆さんからお手紙やお電話をいただき、事務局もその責任の重さを痛感しております。今後も会員の皆さんに少しでも数多くの資料を提供し、いろいろな分野を見つけて行きたいと思ひます。しかし残念ながらお手紙を出し

ても一部の方から返送されてまいります。住所変更等がありましたら事務局まで御一報下さい。

つきまして、52年のJPC会費未納の方がおられるようです。会員の方で会費未納の方は、53年度分と合せて、お手数ですがお近くの郵便局にてお振込み下さい。(年会費1,000円)

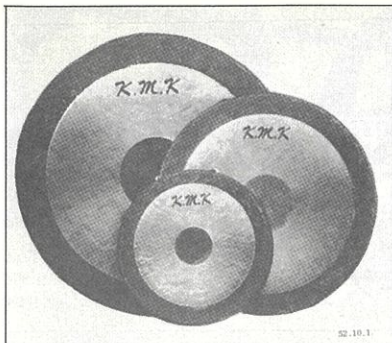
(JPC事務局まで御持参されてもけっこうです。)

口座番号 東京 9-153115

加入者名 株式会社 コマキ楽器

K M K
ドラ44"
日本初
入荷!!

¥650,000
スタンド
¥50,000



先日、我国で初めての44"ドラが入荷しました。迫力、響、ともに申しぶんなく、従来のドラよりはるかに冴えたものです。ぜひ一度、音をお聞きになって下さい。試奏頂いた各先生より絶賛を博しております。きっと納得していただけるでしょう。

コマキ
ニュース

音色の良さ、音域の広さで絶賛を博しているプレミアティンパニー(4点)が東京芸術大学に納品された。このプレミアティンパニーは、微調整、ゲージ付と扱いやすく、オーケストラ、シンフォニックバンドにと幅広い用途を持っています。ジャパン・パーカッション・センターにて、皆さんに試奏していただいております。御希望の方は、JPCまでお問合せ下さい。

プレミアティンパニーが東京芸大に!!

824(銅) 22 $\frac{1}{2}$ "、25"、28"、30"ゲージ付
¥1,600,00(写真)



◆JPC すいせんコンサート◆

昭和52年度文化庁助成

トータル・アピール 展1

肉体と音のルーツをここに……ダンス・シアター・キュービック

2月10日(金) 18:30開演 中野サンプラザホール
入場料 S=¥5,000、A=¥4,000、B=¥3,000、C=¥2,000

ダンパーコ……光りの中のパーカッション
熱帯の食欲……視覚化されたニュージャズ

間宮芳生の世界……立体化された音と舞踊

キャスト
パーカッション・グループ72 フルード 野口博司
音楽構成 永曽重光

堀之内幸二 シタール演奏会

2月6日(月) 18:30開演 東京文化会館小ホール
入場料 ¥1,500

キャスト
堀之内幸二 《シタール》 黒坂 昇 《タブラ》
白田弥生 《タンブーラ》 黒坂絹代 《タンブーラ》

ストラスブール・パーカッション・グループ東京公演

2月10日(金) 19:00 (I)プロ 東京・芝・郵便貯金ホール
2月20日(月) 19:00 (II)プロ "

入場料 S=¥3,000、A=¥2,500、B=¥2,000

JPC会員1割引で取扱ってます。

§ すいせん レコード §

「夏念仏」 演奏・雨宮靖和

RCA RVC-2154 ¥2,500

夏念仏 雨宮靖和 作曲
墨に染まりゆく海 雨宮靖和 作曲
デンマークの王 モートン・フェルドマン作曲
打楽器奏者はもとより、オーディオマニアの方にもお推め致します。

「日本の太鼓」

SSH-80001 ¥2,500

岡谷太鼓 (演奏・岡谷太鼓保存会)
川中島陣太鼓 (演奏・川中島陣太鼓保存会)
元来太鼓は、虫送りや雨乞いなどに打たれたり、神事や神賑いの神楽や念仏供養などに打たれて来た。日本の太鼓の響には、我々の心の底に力強く訴えかける何かがあり、それが高潮した時、狂おしくさせるほどに我々の魂を揺がすのである…。JPCにてあつきます。お問合せは事務局までどうぞ。

ストラスブール・パーカッション・グループ
「アメリカーナ」

PHILIPS X-5624 ¥2,300

イオニザンオン ヴァレーズ作曲
タンブーコ チャヴェス作曲
トッカータ チャヴェス作曲
ファースト・コントラクション ケージ作曲

「フル・ロード」

森山威男パーカッション・アンサンブル
FRASCO FS-7005 ¥2,500

フル・ロード 森山威男作曲
デュアル・ロード 森山威男作曲
ヴィブロフェイス 森山威男作曲
森山威男、百瀬和紀、山口保宜の各氏が、心をこめて、今は亡き小宅勇輔先生に捧げる。

編集後記

寒い日が続きます。朝、目をさますまではいいのですが、なかなかふとんから出る決心がつかない私です。寒さに耐え身じたくをして電車に乗りこむと着ぶくれラッシュで押すな押すなの大ききわぎはき出すように人がおりののは上野駅。私もその一人に加わり、かけるように階段をおりて行きます。すると列車待ちだろろうと思われススキーを持った若者達が、あちらこちらでグループを作り楽しそうに話しをしている姿が目につきます。「うらやましいなあ……。」とは、私の一人言。横目でみながら地下鉄乗りばへ。地下鉄の中では時計とらめつこ。「早くついでくれ!」おりとあとは走るだけ。横断歩道もなんのその。最短距離にいとむ毎日です。ようやく会社にたどりつき、タイムカードを前にして、ホッとためいき……。これが私の出勤姿なのです。

昭和53年2月1日発行

発行所

J.P.C 事務局

〒川 東京都台東区西浅草1-7-1
(武蔵ビル2F)

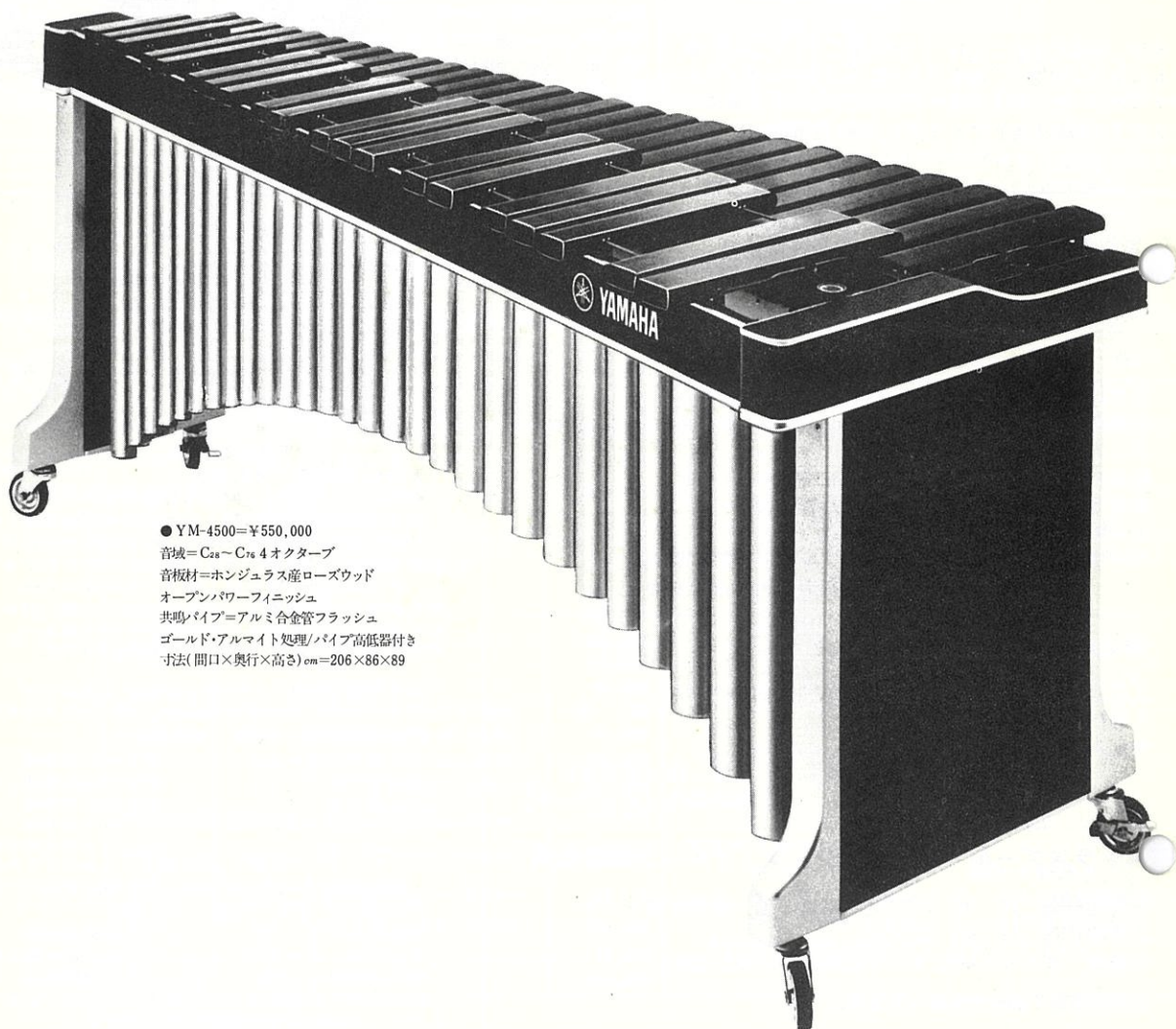
TEL 03-845-3041(代)

振替口座 9-11530115

発行人 山田正俊

木の魂と、人の想い。

深い響きと表現力をもつ最高級のコンサートマリimbaです。
選びぬいたローズウッド。



● Y M-4500=¥550,000
音域=C₂₈~C₇₆ 4オクターブ
音板材=ホンジュラス産ローズウッド
オープンパワーフィニッシュ
共鳴パイプ=アルミ合金管フラッシュ
ゴールド・アルマイト処理/パイプ高低器付き
寸法(間口×奥行×高さ)cm=206×86×89

木をうたわせるマリimba。原理がシンプルだけに設計にも素材にも仕上げにも、微妙な配慮が求められます。ヤマハが選んだ音板は、マリimbaにとって理想とされるホンジュラス産ローズウッド。厳選したその木の「魂」との語り合いから、感動を伝えるあの深い響きが生まれてきます。ピアノをつくって80余年。わずかな妥協も許さない楽器づくりの経験と技術をもった、ヤマハだけが致達できた完成度の高さです。第一線の奏者の方々にひ

ろくご愛用いただいている最高級品。

●コンサートマリimba Y M-4000 (C₂₈~C₇₆ 4オクターブ)=¥450,000。Y M-400 (C₂₈~C₇₆ 4オクターブ)=¥300,000。●コンサートシロホン Y X-350 (F₄₅~C₈₈ 3½オクターブ)=¥270,000。Y X-300 (C₅₂~C₈₈ 3オクターブ)=¥170,000

 **YAMAHA**

Japan Percussion Center
ジャパン・パーカッション・センター